
望まれた永遠交差

林 鈴太郎

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

望まれた永遠交差

【Nコード】

N8156X

【作者名】

林 鈴太郎

【あらすじ】

いろんな心が入り乱れて

私を乱していく

これは錯覚なの なんなの

飲み込む恐怖は分からない

何がどうかも、もうこの混沌としすぎた世界では分からないの

他力本願だけど、これしか術はないの。夢幻まで、行ったから、帰り道は、夢の中。もう一度、潜る勇氣なんて、ないから。どうか、見たことのない街角を、見つめる恐怖。一步、踏み込めばどうなるのだろう。恐怖心と楽観的な心が、いつもざわついて。他人なんて見ようともしない。だから、変わってるんだよ。感性が豊かなんかじゃなくて。単に、変わり者。

幻覚にいつまでも溺れる、弱い心。ねえ、いつまでこの前世の幻を背負うの。瞳閉じれば、いつも途切れ途切れの幻。掴み取れないのに、こんなにも現実味を帯びて。この世とあの世を永久に結ぶ。画面だけのあの人もほら、可笑しくなりそうなほど。私を束縛するでしょう。此の玉の魔力。言の葉が永久に、赦された術。私は、捕らわれたまま。助けてほしいければ、足掻けば良いつて。とつくに、楽になれた者が耳打ちして。嘘でしょう。奈落のそこまで、足掻いて言うの。

支離滅裂、夢魔の幻覚。もう、十二分。気分が悪くなりそう。心が折れそうだから。だから、助けてほしい。ここから、捕らわれたのは、私の策じゃなくて、前世の策。内なる願いは、いつ蝶になるの。現実から、夢幻へと。誰かが誘って、置いてけぼり。助けてほしいのよ。

幻は見たくない。前世の記憶の端が、時々ちらつく。私は、誰？私、どこに行かなきゃならないの。誰か、知ってるの。幸せで満たしてほしい。心を空っぽにしたら、前世がつぶやく。私を現にほつて、夢幻にまた、誘って。身勝手だよ。これは、私の体。神の赦した、私だけの糧。誰にも、穢されないの。前世は前世でおしまいだもの。私は、私よ。

何処か、遠くで花の香がした。阿修羅のような、血肉の香。美しく、ただ残酷な。狂気と混乱をただ見据えて。ここまで、来たの。私の命、この姿。喜びの、美しい愛はどこにあるの。探しているの。骨の髄まで浸れるような、永遠を。どの愛が美しく、どの愛が汚れているなんて。もう区別が付かなくて。いつまで歩き続けようか。いつまで居ようか、ここに。どうすれば、私の骸は消えるのかな。屍のまま生きても、何も出来ないのに。どうすれば、綺麗でいれる？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8156x/>

望まれた永遠交差

2011年10月22日16時09分発行